日本工学院八王子専門学校 開講年度			2019年度(平成31年度)		科目名	プロダク	プロダクト理論2		
科目基礎'	情報								
開設学科	プロダクト	デザイン科		コース名				開設期	後期
対象年次	1年次	1年次			区分 必修			時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義				1	
枚科書/教材	by 参考書籍:	プロダクト	デザインの	基礎 素材	 とデザインσ)教科書			
担当教員'	情報								
担当教員 大山敏弘							「無・職種	ダクトデザイナー	
学習目的	l							1	
プロダクト	、テザイン業務	に関連する知	識を埋解し、	今後の課題	での実践力を	∼養うことが目的	J.		
到達目標									
ノロダクト	トナザインの依	ぶにりいて、	rFFOCE	_ こなこを始	まん辨説・快	まりし、 味鬼のり	リーチャン	レセンテー:	ション技術に役立てることが目標。
教育方法	等								
授業概要	<u> </u>		科目の内容を ための考え方		桟的にリサー [:]	チやプレゼンテ	ーションを彳	〒う。個人・	グループで話し合い、まとめる技術
講義に遅刻、欠席をしな 講義に必要な教科書、資 講義中は必ずメモを取る やむを得ず欠席した場合			料を持参すること。						
	種別割合備考								
評	試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する								
価 方									
法	1 1971	1070	以下に対対	(木乡)加及、	及木心及に	8) (IIIII)	<u>~</u>		
受業計画	(10~15	()							
	授業内容			各回の到達目標					
1 🗆	ガイダンス			アイディアと企画 頭の柔軟体操をすることで物事を考えやすくする					
2 🗓	個人企画発表			マーケティングとデザインについて理解する					
3 🗓	マーケットリサーチ1			既存商品群を俯瞰して理解し情報収集をすることができる					
4 回	マーケットリサーチ2			既存商品群を俯瞰して理解しマップをチームで作成することができる					
5 回	マーケットリサーチ3			既存商品群を俯瞰して理解しマップを検証し新商品の提案をすることができる					
o 🗆	デザインプロセス			アイディアの出し方、言葉のつなげ方、発想の方法を習得する					
7 回	デザインプロセス			アイディアの出し方、言葉のつなげ方、発想の方法を習得する					
3 🗓	グループワーク1			マーケットリサーチを踏まえて新しいアイディアの企画発想の方法を理解する					
9 回	グループワーク2			マーケットリサーチを踏まえて新しいアイディアの企画発想の方法を理解する					
10回	個人企画書作成			企画書を作成することができる					
110				どのような自分になりたいか、抱負を語ることができる					
			技術とデザインについて理解する						
/ IHI	技術とデザイン2			技術とデザインについて理解する					
13回									

技術とデザインについて理解する

新しいアイディアの企画プレゼンテーション

技術とデザイン3

____ プレゼンテーション

14回

15回